

音楽グループ研究会

グループ員：田中 真由美	(南小学校)	大倉 里美	(伊丹小学校)
山本 泰子	(稲野小学校)	鈴木 恵子	(神津小学校)
仙崎 城康	(緑丘小学校)	益原 久美子	(桜台小学校)
山田 裕子	(天神川小学校)	福山 純子	(瑞穂小学校)
宮脇 一三	(有岡小学校)	高木 美穂	(花里小学校)
東馬場 麻衣	(摂陽小学校)	中田 理恵子	(鈴原小学校)
花谷 佳子	(荻野小学校)	山下 雅代	(池尻小学校)
担当指導主事：中田 智継			

キーワード：ICTの活用・評価・音楽ソフトの活用・教科書教材の指導法

1 研究テーマ

「新しい音楽授業の工夫 (DTM(注)・ICTの活用も含む)」

2 研究内容

(1) 新しい教材(教科書)の指導とその評価の研修

今年度の教科書改訂を受けて、4年生の鑑賞「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」、歌唱「いいことありそう」、クラッピングファンタジー、4・5・6年生の「音楽づくり」の提示法など、新教材の指導法について意見交換を行った。また年間を通しての音楽科の評価について、各校の実践を報告しあった。

(2) オーディオ機器やICTの操作及びその活用についての研修

- ① 音楽ソフトの操作方法について研修(新しいグループ員に向けても)を行った。
- ② 演奏の録音とそのファイル加工について情報交換した。
- ③ ①、②により作製された音楽データの効率的な活用を報告し合った。
- ④ 電子黒板、書画カメラのつながりかた、操作方法などを確認した。

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 年度初めに課題を設定し、各教師の得意な分野の実践について、意見交流を行い研修を深めることができた。また、グループ内で分担して教材研究することで、各学年の新しい教材に余裕を持って取り組むことができた。
- ② オーディオ機器やICTについて各校の実践を報告、共有することで、より効果的・効率的な活用法を見いだすことができた。

(2) 課題

各校のICT環境に差があり、研修したことを各校の状況に合わせてどのように活かしていくのが課題である。今後、タブレットなどを使用することでより便利な使い方ができると予想されるので、そういった研修も深めていきたい。



録音機 CD-2e(ローランド)



ハンディレコーダー H4(zoom)



USBマイク

(注)デスクトップミュージックの略。パソコンを使って演奏をしたり、作曲や音楽ファイルの編集作業を行ったりすること。